



**(2)取組方針**

**土地利用** - 広域拠点にふさわしい魅力あるまちづくりの推進 -

■「小杉駅北側の玄関口としての様々な都市機能の集積」

- 拠点性を高める商業・業務、文化、交流、宿泊、健康増進、子育て支援や、都市型住宅等、様々な都市機能の適切な配置を誘導
- 業務、宿泊機能については、商業施設、医療施設、コンベンションホール等の既存都市機能と連携し、相互の利便性を高めることで、小杉駅周辺全体へ波及する魅力あるまちづくりの推進

■「快適で居心地のよい賑わい・交流機能の充実」

- 駅前での賑わいの向上に寄与するイベント等に利用可能な広場等の空間の創出
- 職住近接を可能とするとともに、人々の交流を促すワークプレイス等の整備の誘導



公開空地での賑わいイベント

**都市基盤** - 駅とまちをつなぐ駅前空間の整備 -

■「周辺道路の統合や民間敷地の活用による駅前広場の拡充」

- 周辺道路の統合、民間整備の公開空地や立体制度等の活用により、駅前広場を適正な規模、配置で拡充
- 歩行者空間の拡充を図るとともに、バス、タクシーの快適な乗降空間や、等々力緑地への臨時バス乗降空間の整備



快適な歩行者空間となるペDESTリアンデッキ

■「歩車分離やペDESTリアンデッキによる歩行者空間の充実」

- 駅前広場の歩車分離を図るとともに、民間開発等と連携を図り、ペDESTリアンデッキを整備し、バリアフリーに対応した安全で快適な歩行者動線の形成及び、駅北側の回遊性の向上を図るための歩行者ネットワークを強化

**防災** - 安全・安心なまちづくりの推進 -

■「災害に強いまちづくりの推進」

- 駅周辺の屋外滞留者が、滞留できるスペースの整備を誘導するなど駅前防災機能の強化
- 雨水流出抑制施設の設置誘導とあわせ、国の「建築物における電気設備の浸水対策ガイドライン」も踏まえた、電気設備等の浸水対策が図られた新設建築物の誘導

**環境** - 地球環境に配慮したまちづくりの推進 -

■「温室効果ガスの削減及び緑化整備の推進」

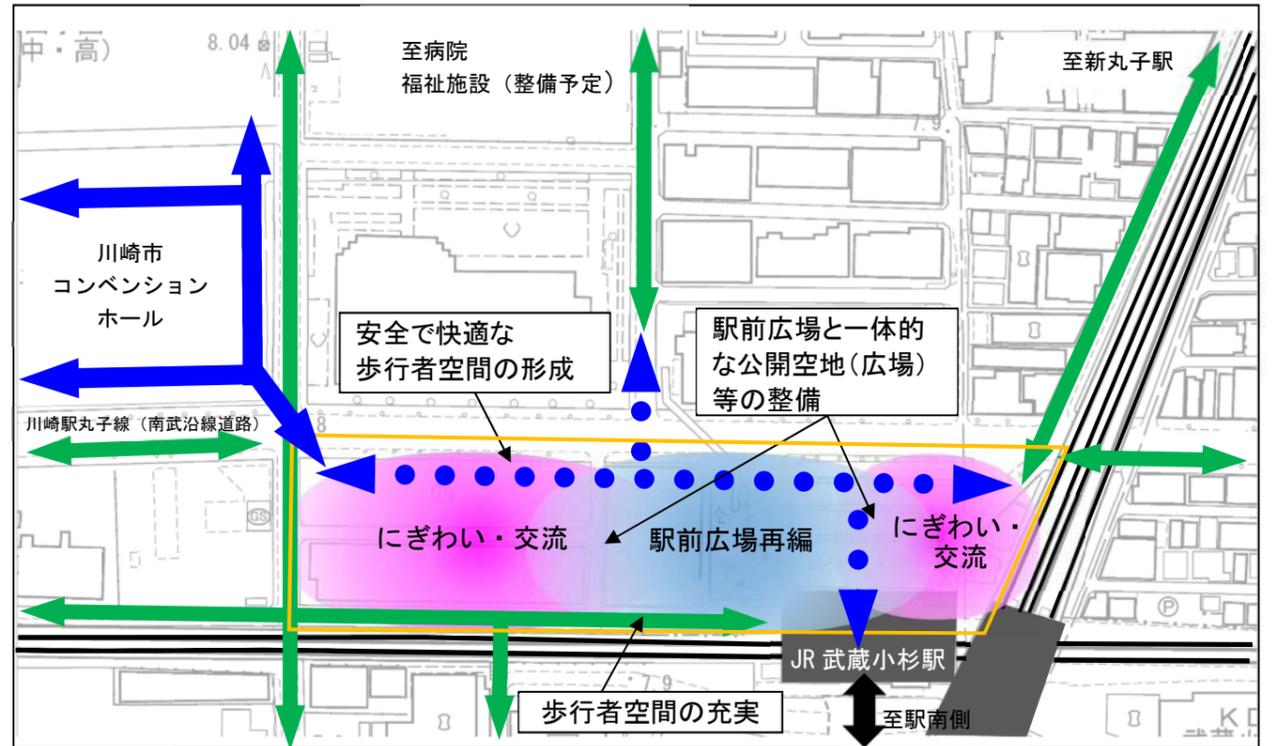
- 建築物の省エネルギー対策、再生可能エネルギーの導入、効率的なエネルギー利用、屋上緑化や壁面緑化等の取組みの誘導や木材利用の促進

**景観** - 活気と賑わいが感じられる駅前の顔の形成 -

■「駅前にふさわしい街並みの形成」

- 周辺建物と調和を図るとともに、洗練されたデザインによる街並みの形成

**(3)ゾーニング図**



凡例

- 対象区域 (Yellow box)
- にぎわい・交流ゾーン (Pink oval)
- 駅前広場再編ゾーン (Blue oval)
- 歩行者動線 (デッキレベル) ※完成済 (Blue double arrow)
- 将来歩行者動線 (デッキレベル) (Blue dotted arrow)
- 歩行者動線 (地上レベル) (Green double arrow)

〈にぎわい・交流ゾーン〉

駅前広場に面して賑わい・交流機能等の様々な都市機能を集積し、駅前にふさわしい賑わいと人々の交流を創出するなど、広域拠点にふさわしい魅力ある駅前空間を創出します。

〈駅前広場再編ゾーン〉

適正な駅前広場の規模、配置となるよう民間敷地の開発と連携して、駅前広場の拡充を図り、バスや歩行者の円滑かつ安全な通行環境を確保します。

〈将来歩行者動線 (デッキレベル)〉

コンベンションホールや病院、福祉施設への円滑な移動を可能にするなど、歩行者ネットワークを強化し、駅北側の回遊性の向上を図ります。

**5 取組スケジュール**

今後の社会変容などを踏まえながら、北口駅前の民間開発の誘導を図るとともに、まちづくりの進捗にあわせた駅前広場の再編など都市基盤整備に取り組んでいきます。

	短期 (概ね 5 年間)	中長期 (概ね 5 年間)
賑わい・交流ゾーン	→	
駅前広場の再編ゾーン	→	